

5 夢づくり推進表彰の実施

(1) 夢づくり大賞（知事表彰）

【表彰式】

日時：平成23年5月27日（金）

場所：県庁3階特別応接室

子育てカレッジの実施

（県大そうじゃ子育てカレッジ実行委員会 委員長 岡崎順子）



「つどいの広場」（週1日）の開催や、「保育ステップアップ講座」（年4回）等の開催をはじめ、平成22年度は延べ1,029組の親子が利用するなど、地域の総合的な子育て支援の拠点整備に大いに貢献した。

まちに灯りをともす

（特定非営利活動法人倉敷町家トラスト 代表理事 中村泰典）



空家を町家暮らしが体験できる滞在型宿泊施設に改装するなど8棟を改修・利活用したほか、空家や不在家屋への店舗入居の仲介を行い、特産品（倉敷帆布等）を販売する店舗が開店するなど、観光地の景観の保全やにぎわいの創出に大いに貢献した。

映画ロケ誘致と観光振興

（たかはしフィルム・コミッション 会長 石井雅之）



県庁の星、バッテリー、大地の詩、ルパンの奇巖城など数多くの映画等のロケの実績に繋がったほか、ロケの実績を活用し新たな観光資源の創出に大いに貢献した。また、地元市民によるボランティアエキストラの活用により、地域の活性化にも大きく貢献した。

(2) 夢づくり推進賞（県民局長表彰）

【表彰式】

日時：平成23年6月8日（水）

場所：県民局会議棟1階会議室

綿で玉島を白くしよう

（特定非営利活動法人備中玉島観光ガイド協会 理事長 西廣行
備中綿研究会 会長 原田力）



円通寺近辺の耕作放棄地において、大規模に綿を栽培し、その花や綿の実で観光客を楽しませたほか、地域住民を対象にした「鑑賞会」「収穫祭」等の開催、県民文化祭においてパネル展示や綿織り等の実演など、両団体がそれぞれの特性を活かした分担によって、地域活性化に大いに貢献した。

倉敷ジャム2010～あっ晴れ！国文祭スペシャル～の開催

（倉敷コミュニティ・メディア 会長 大久保憲作）



国民文化祭において、備中地域の「文化がまちに出る！プロジェクト」として、倉敷市芸文館及び倉敷美観地区周辺においてジャズ、アート、食、企業文化等多彩なイベントが繰り広げられ、約1万人もの来場で賑わうなど、倉敷のまちを舞台とした文化発信の基盤づくりに大いに貢献した。

ラーメンのまち笠岡全国展開プロジェクト

（ラーメンのまち笠岡全国展開プロジェクト推進委員会 委員長 長安博）



笠岡市民のソウルフードとしてのイメージの定着を図るとともに、地元の食文化や食材への理解を深めるため、市内のラーメン店を一堂に会したイベントを開催したほか、笠岡ラーメンを核としながら、多様なラーメン店への誘客を目指し、「ラーメンのまち笠岡」として全国に情報を発信するなど、ご当地グルメをテーマとした地域おこしに大いに貢献した。

干し柿作りによる農業・地域活性化の取り組み

（山ノ上干柿生産組合 組合長 土井良雄）



干し柿加工施設「干し柿夢工房 山ノ上」の開設したほか、地元住民と岡山大学、矢掛高校の学生・生徒が、干し柿作りなどの農作業体験を通じて交流を深め、地域や農業の活性化について意見交換等を行うなど、干し柿作りによる農業・地域活性化に大いに貢献した。

高梁地域の地域づくり団体の交流推進

（高梁地域づくり交流会 会長 西右介）



「産・官・学・市民」の幅広い立場が一緒になって、地域づくりを考え、実践していくことにより、地域と大学の連携が進み、学生の社会ボランティア体験とまちの賑わい創出を目的に、市内栄町商店街において、学生が地域の子どもの対象にした「手づくり遊び教室」が開かれ、目に見える形での効果も現れるなど、地域づくりに大いに貢献した。

子育てカレッジの実施
(吉備国際大学たかはし子育てカレッジ実行委員会 委員長 栗田喜勝)



週5日、大学内に高梁市子育て支援センター「ゆう・ゆう(遊・友)ひろば」を開設し、遊びの場の提供・見守りを行っているほか、保育士や幼稚園教諭等を対象とし、発達障害児支援や家族援助をテーマとした、大学教員による講座(Kiui講座)を年3回開催するなど、地域の総合的な子育て支援の拠点づくりに大いに貢献した。

耕作放棄地の発生抑制・解消に向けたしゃくやく産地の復興
(JAびほく花木生産部会 代表 小野雄之進)



農協及び市の広報誌を通じてしゃくやくの栽培者を募集したほか、耕作放棄地等への作付けの推進、新規栽培者への栽培管理指導の実施、しゃくやくの町高梁をPRするなど、耕作放棄地の発生抑制・解消に向けたしゃくやく産地の復興に大いに貢献した。

「中世たたら製鉄操業」の再現
(備中国新見庄たたら伝承会 会長 藤井勲)



備中国新見庄まつりの中核イベントとして、平成11年から毎年、年1回、一昼夜にわたるたたらを操業しているほか、備中地域広域観光協会企画「鉄の径」ツアーや国民文化祭「たたら製鉄フェスティバル」への実施協力をするなど、地域文化の伝承に大いに貢献した。

地域ぐるみによる米粉文化の情報発信
(新見市米粉利用促進協議会 会長 深井正)



米粉に対する理解を深めるため、米粉生産現場の視察や学習会、米粉を利用した料理・加工体験等を消費者や小学生親子、高校生を対象に開催したほか、道の駅「鯉が窪」で「米粉フェア」を初めて開催し、協議会の活動紹介や、米粉商品の展示・試食・販売など米粉の魅力をPRするなど、米粉文化の情報発信に大いに貢献した。